

飛翔の森から ～羽島北高校進路だより～ 第7号

R1.11.14 (木) 羽島北高校進路指導部

受験シーズンが本格化！推薦入試からセンター試験へ

11月に入り、推薦入試がいよいよ本格的に始まりました。担当の先生から面接練習、小論文の添削、受験の心構えやアドバイスなどを受ける3年生の姿が、校内のいたるところで見受けられます。受験本番まであとわずか、精一杯頑張った自分の力を信じるのみ。受験当日は、体調を整えて、平常心で臨みましょう。そして受験が終わったら、まずはお世話になった先生への報告を忘れずに。また、晴れて合格できた後には、大学等から入学前学習が指示されることも多いです。こちらを着実に進めてください。一方、大学入試センター試験まであと2ヶ月余りとなりました。12月中旬には受験票が到着します。国公立大学を志望する人はもちろん、私立大学志望の人も、センター試験利用入試はほとんどの大学で行われていますから、ここで高得点をあげることは希望大学合格の近道といついでいいでしょう。毎年、3年生の各クラスに配布する『蛍雪時代12月号 センター試全力特集号』（旺文社）によると、



Q1 本格的なセンター対策を始めた時期は？ →合格者の過半数が11月 ※つまり、まさしく今です。

Q2 センター対策で重点を置いたことは？ →問題を数多く解く。※センター試験の特徴の一つが、試験時間に対するボリュームの多さです。数多く解いて出題形式に慣れましょう。

Q3 センター対策で重視した学習手段は？ →過去問題・予想問題 ※センター対策は過去問題を徹底してやるのが有効です。年末年始のセンター演習も効果が上がると思います。

なお、『蛍雪時代12月号』には、各教科・科目別の予想問題も掲載されています。これも非常に重要な情報ですので、合せてチェックしておいてください。

2年生の大学模擬講義、1年生の新路BOOK講座が開催されました

10月31日(木)の6、7時間目に2年生の大学模擬講義及び1年生の新路BOOK講座がそれぞれ開催されました。大学模擬講義では、13の4年制大学、短期大学、専門学校の先生方をお招きし、心理、国際、スポーツ、工学、看護、栄養、保育などの分野別に、各学校の授業の一端や職業に就くための心構えなどを教授してもらいました。また、新路BOOK講座では、講師の先生の映像を交えた講演を通じて、①「誰かの為に」という視点を持つてみる。②目の前のこと(勉強・部活・学校行事・人間関係など)に一生懸命取り組む。③自分自身と対話する(質問する)ということの大切さを教えていただきました。いずれの活動も、今後の自分の進路を考える上で、大きな効果があったことと思います。

2年生を対象に小論文指導・小論文模試を行います

来月の総合学習の時間を活用して2年生を対象として、小論文指導及び小論文模試を行います。学研の教材を使い、2日(月)・9日(月)にワークブックを使った学習をし、16日(月)に模試形式で実際に小論文を記述します。その結果は2月10日(月)に返却されます。AO入試や推薦入試の対策として、今からは是非小論文を書く力を習得しておきましょう。



12月の進路関係行事

2日(月)及び5日(木) 進路決定者懇談会(3年生進路決定生徒及びその保護者対象)

*2日・5日いずれかの日に参加

25日(水)、26日(木) 3年生センター直前演習(代々木ゼミナールの演習問題使用)